

<予想分配金提示型・為替ヘッジあり>

第17期末 (2024年9月17日)	
基準価額	8,265円
純資産総額	15百万円
第15期～第17期 (2024年3月16日～2024年9月17日)	
騰落率	2.7%
分配金合計	0円

<予想分配金提示型・為替ヘッジなし>

第17期末 (2024年9月17日)	
基準価額	10,981円
純資産総額	55百万円
第15期～第17期 (2024年3月16日～2024年9月17日)	
騰落率	0.9%
分配金合計	240円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

# ニッセイSDGs インカムファンド

(予想分配金提示型・為替ヘッジあり)  
(予想分配金提示型・為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／債券

## 交付運用報告書

作成対象期間：2024年3月16日～2024年9月17日

第15期 (決算日 2024年5月15日)

第16期 (決算日 2024年7月16日)

第17期 (決算日 2024年9月17日)

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイSDGsインカムファンド(予想分配金提示型・為替ヘッジあり) / (予想分配金提示型・為替ヘッジなし)」は、このたび第17期の決算を行いました。

各ファンドは、「ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド」および「ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド」受益証券への投資を通じて、北米や欧州の企業が発行する社債を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

各ファンドは、投資信託約款において、運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で運用報告書(全体版)をダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

【ダウンロード方法】上記ホームページ→ファンド検索→ファンド名入力→ファンド詳細ページ→運用レポート→運用報告書(全体版)

UD FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

## ニッセイアセットマネジメント株式会社における「ESGファンド」について

ニッセイアセットマネジメント株式会社（以下「弊社」といいます）は、ファンドの設定目的や運用方針等をもとに、弊社が設定・運用する公募投資信託において「ESGファンド」と位置付けるファンドを分類しています。

当ファンドは、「ESGファンド」に該当いたします。

以下に弊社における「ESGファンド」の考え方をご説明いたします。

### ■ ESG運用とは

まず、ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）、Governance（ガバナンス）の頭文字をとった言葉で、ESG運用とはこれらの要素を投資判断に加味する運用のことをいいます。ESG運用については、持続可能な社会および国際金融システムの実現をめざすために、2006年に国連が中心となり提唱した責任投資原則（PRI：Principles for Responsible Investment）をきっかけとして広まっている考え方です。

### ■ 弊社の「ESGファンド」の考え方について

弊社ではESG要素を積極的に活用し、ポートフォリオを構築するファンドを「ESGファンド」としています。「アクティブファンド」において、ESG要素を積極的に活用する運用とは、相対的にESG評価の高い銘柄を選別したり、ESGの観点でインパクト創出可能な銘柄を選別したりする運用のことをいいます\*1。運用ファンド全体の中でESGファンド以外の区分としては、ESG要素を体系的に運用プロセスに組み込んでいるファンド、ネガティブスクリーニング\*2などでESG要素を考慮しているファンド、およびESG要素を考慮していないファンドがあります。

なお、ESGファンドの中で、特にSDGs\*3のゴール達成という観点においても優れた投資銘柄でポートフォリオを構築するファンドを「SDGsファンド」、また環境や社会へのインパクト創出も企図し、その効果をレポートするファンドを「インパクトファンド」としています。

\*1 「インデックスファンド」においては、ESG要素を積極的に活用して構成されていると弊社が考える指数に連動するファンドをESGファンドとしています。

\*2 ESGの観点から特定の銘柄等を投資対象から除外することをいいます。

\*3 Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）のことです。2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標です。

## < ESGファンドの考え方（イメージ） >

### 運用ファンド全体

ネガティブスクリーニングなどでESG要素を考慮しているファンド

ESG要素を体系的に運用プロセスに組み込んでいるファンド

**ESGファンド**

ESG要素を積極的に活用し、  
ポートフォリオを構築するファンド  
(SDGs・インパクトファンドを含む)

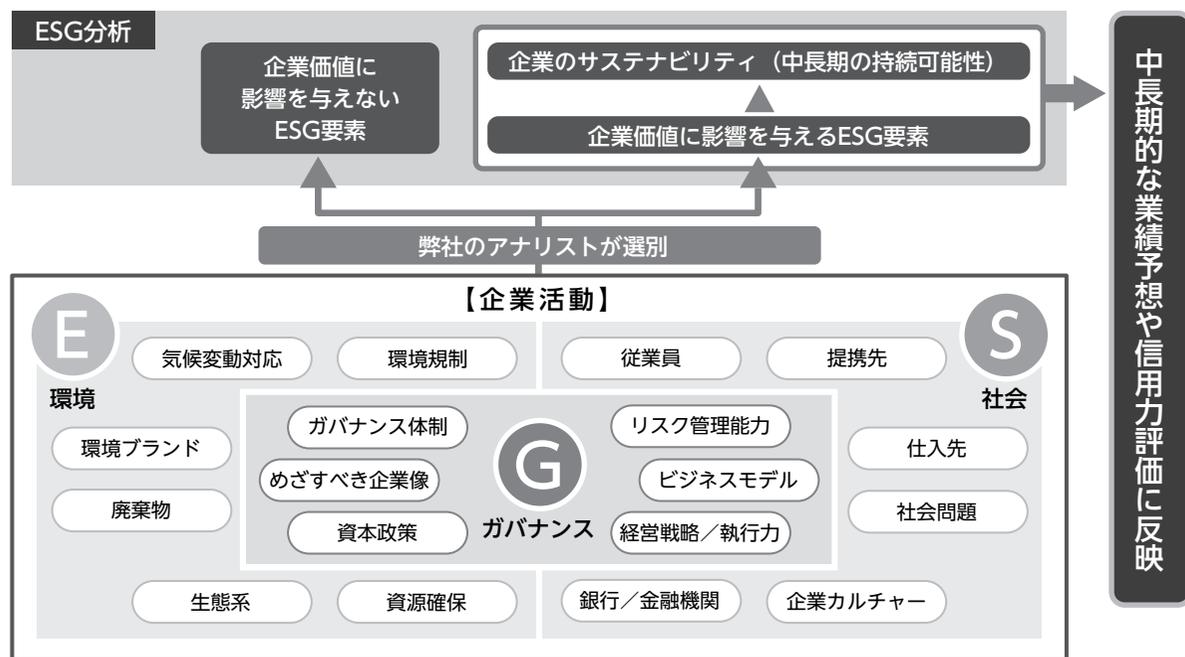
ESG要素を考慮していないファンド

## ■ 弊社のESGに対する考え方について

弊社では、ESGは企業のあらゆる活動に影響を与える要素であると考えており、企業のESGに関する取り組みを分析することで、企業のサステナビリティ（中長期的な持続可能性）や中長期的な企業像を把握することができると考えています。また、一般にESGの観点で優れた取り組みを行い、ステークホルダー（企業のあらゆる利害関係者）との持続的な関係を構築できる企業は、中長期的に持続的な成長基盤を有していると考えられます。

弊社では、アナリストが、ESG要素の中で企業価値に影響を与えるものを企業毎に選別しながらサステナビリティの評価（ESGレーティング（詳細は後述）\*の付与）を行います。その評価を中長期的な業績予想や信用力評価に反映させ、投資判断の土台として活用しています。

### < 企業活動と弊社のESG評価（イメージ） >



\*弊社の「ESGレーティング」について

弊社のESG評価は、企業のESGに関する取り組みが中長期的な企業価値に「ポジティブか」「中立的か」「ネガティブか」の原則3段階とし、1～3のESGレーティングを付与しています（レーティング1が高評価）。ただし、ESGの取り組みを通じて企業価値の大きな業損が懸念されるものの、時価総額が大きい等の理由で投資ユニバースとして継続する企業には、レーティング4を付与することがあります。なお、企業のESGレーティングの付与においては、グローバルに共通のプラットフォームを用いながら資産横断的に独自の評価を実施しています。

### < E S Gレーティングの内容 >

レーティング	内容
1	企業の E S Gに関する取り組みが企業価値にポジティブ
2	企業の E S Gに関する取り組みが企業価値に中立
3	企業の E S Gに関する取り組みが企業価値にネガティブ
4	企業の E S Gに関する取り組みが企業価値に大きくネガティブ
付与なし	流動性や信用リスク等の観点から原則アクティブ運用の投資ユニバース外

なお、第三者の運用会社に運用の委託等を行う外部運用における E S Gに対する考え方や E S Gレーティングの付与手法などについては、上述の限りではありません。

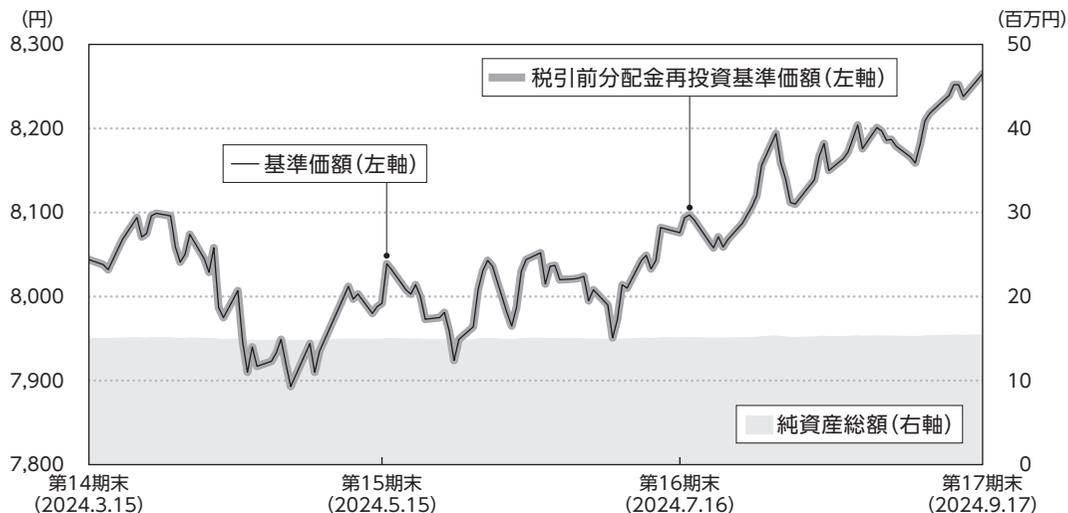
以 上

弊社の E S Gファンドの考え方等は、今後の E S Gを取り巻く情勢等に応じ見直す場合があります。

## 運用経過

2024年3月16日～2024年9月17日

### 基準価額等の推移



第15期首	8,044円	既払分配金	0円
第17期末	8,265円	騰落率 (分配金再投資ベース)	2.7%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・7月から当作成期末にかけて米新規失業保険申請件数が増加するなど、米連邦準備制度理事会（FRB）が重視する雇用市場の鈍化が意識され、利下げ期待が高まったことから欧米金利が低下（債券価格上昇）したこと

<下落要因>

- ・4月から5月にかけてサプライマネジメント協会（ISM）製造業景況感指数や雇用統計などの米主要経済指標が市場予想を上回ったことからFRBおよび欧州中央銀行（ECB）による利下げ開始期待が後退し、欧米金利が上昇したこと

組入マザーファンド	組入比率	騰落率
ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド	63.4%	1.7%
ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド	32.2	0.6

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

## 1万口当たりの費用明細

項目	第15期～第17期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	37円	0.465%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は8,057円です。
（投信会社）	(18)	(0.224)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(18)	(0.224)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	( 1)	(0.017)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	1	0.011	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$
（先物・オプション）	( 1)	(0.011)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
その他費用	2	0.026	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
（保管費用）	( 0)	(0.005)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	( 0)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
（その他）	( 1)	(0.016)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用</li> <li>・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息</li> </ul>
合計	40	0.502	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

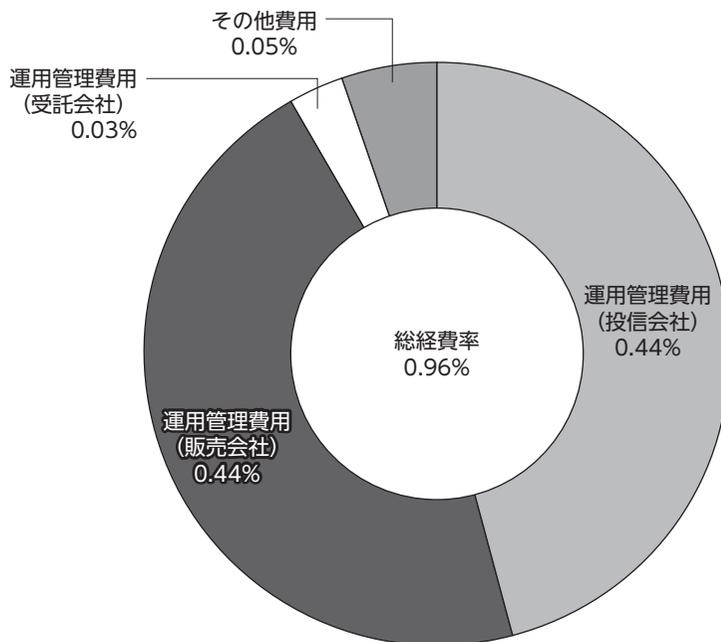
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.96%**です。



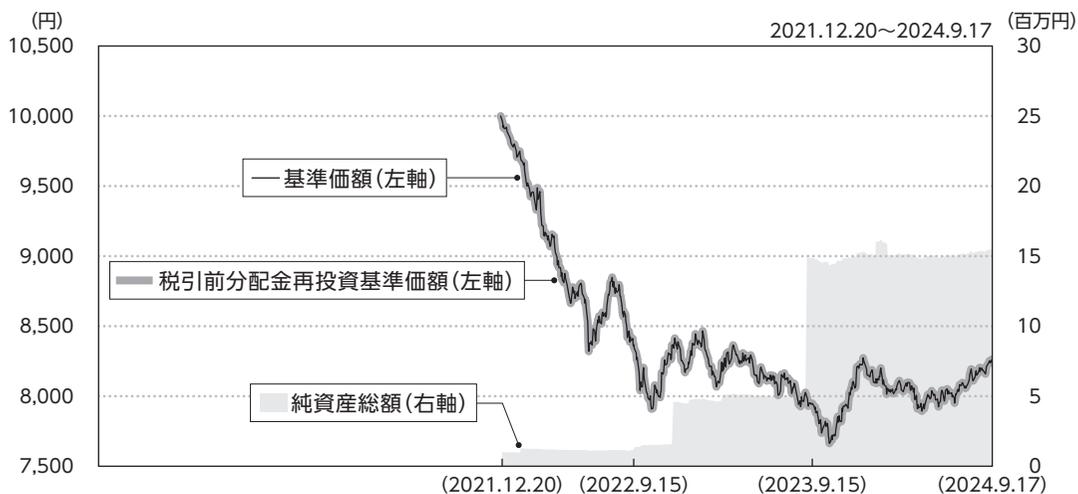
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 当ファンドの設定日は2021年12月20日です。

(注2) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

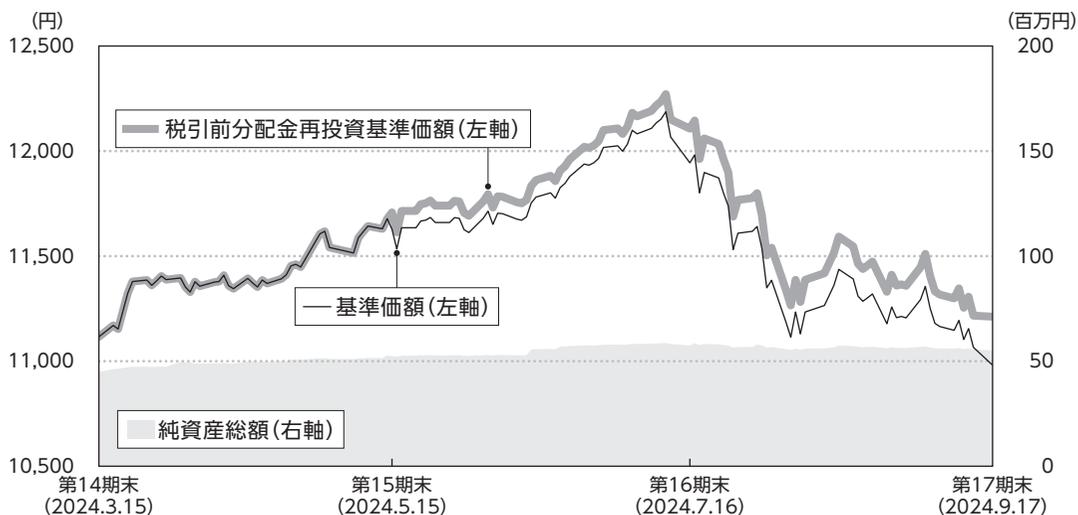
(注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

決算日		2021年 12月20日	2022年 9月15日	2023年 9月15日	2024年 9月17日
基準価額（分配落）	(円)	10,000	8,367	7,949	8,265
期間分配金合計（税引前）	(円)	—	0	0	0
税引前分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△16.3	△5.0	4.0
純資産総額	(百万円)	1	1	14	15

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

(注2) 当ファンドはコンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

## 基準価額等の推移



第15期首	11,116円	既払分配金	240円
第17期末	10,981円	騰落率 (分配金再投資ベース)	0.9%

- (注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・当作成期初から7月中旬にかけて、減速しつつも堅調な米景気を背景にFRBおよびECBによる利下げ時期の後ずれが意識された一方、日銀による金融緩和政策が維持されるとの期待感を背景に、内外金利差に着目した円を売り欧米通貨で運用するキャリートレードが活発化し、ドル・ユーロが対円で大幅に上昇したこと

<下落要因>

- ・7月中旬から当作成期末にかけて米雇用市場の減速を背景に米利下げ期待が高まった一方、日銀が7月の会合で利上げを決定したことに加え、次回会合以降におけるさらなる利上げを示唆したことで内外金利差の縮小が意識され、ドル・ユーロが対円で大幅に下落したこと

組入マザーファンド	組入比率	騰落率
ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド	67.1%	1.7%
ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド	32.9	0.6

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

## 1万口当たりの費用明細

項目	第15期～第17期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	54円	0.465%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は11,539円です。
（投信会社）	(26)	(0.224)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(26)	(0.224)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	( 2)	(0.017)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	1	0.012	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（先物・オプション）	( 1)	(0.012)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
その他費用	3	0.026	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	( 1)	(0.005)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	( 1)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
（その他）	( 2)	(0.016)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	58	0.503	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

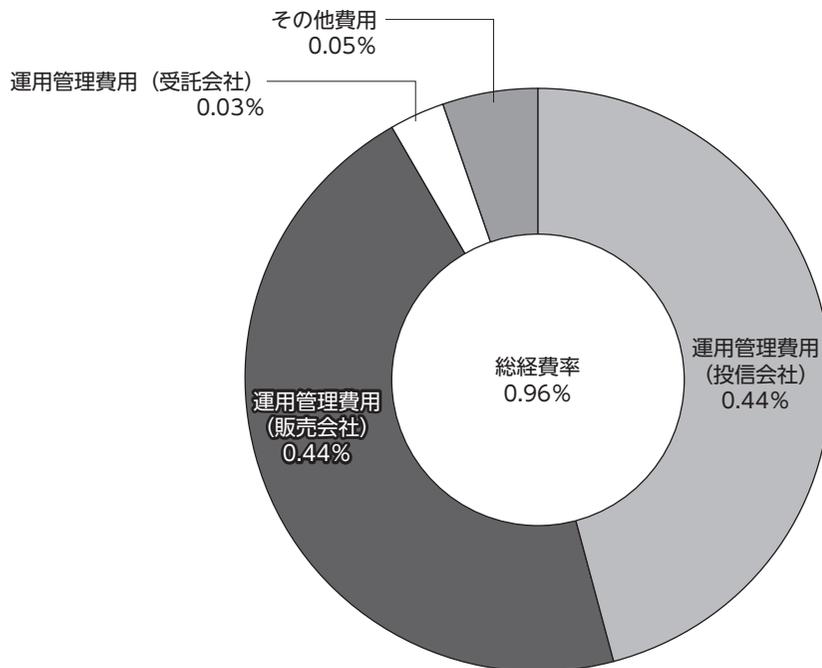
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.96%**です。



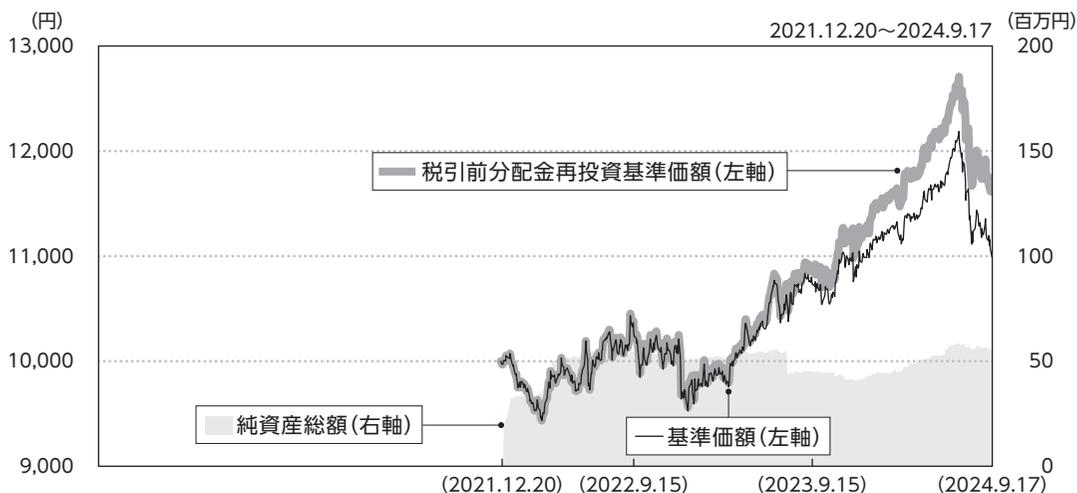
（注1）1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は年率換算した値です。

（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 当ファンドの設定日は2021年12月20日です。

(注2) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

(注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

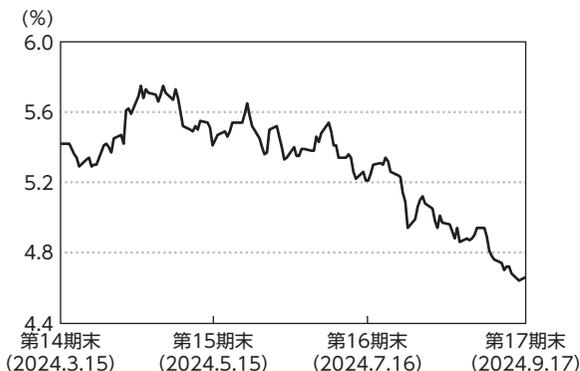
決算日		2021年 12月20日	2022年 9月15日	2023年 9月15日	2024年 9月17日
基準価額（分配落）	（円）	10,000	10,270	10,729	10,981
期間分配金合計（税引前）	（円）	—	40	120	460
税引前分配金再投資基準価額の騰落率	（%）	—	3.1	5.7	6.6
純資産総額	（百万円）	1	54	44	55

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

(注2) 当ファンドはコンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

## ■北米社債市況

【ブルームバーグ米国社債インデックス  
(利回り)の推移】



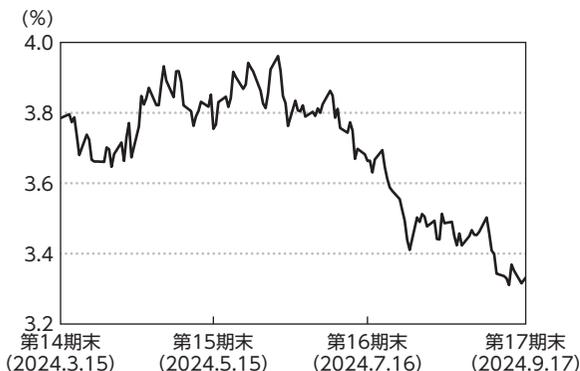
(注) ブルームバーグのデータを使用しています。以下同じです。

当作成期の社債利回り（ブルームバーグ米国社債インデックス（利回り））は、4月初めから月末にかけて米国国債利回りの上昇を受けて上昇しましたが、5月以降はF R Bによる利下げ開始が近いとの期待感が高まり、米国国債利回りが低下したことから低下基調で推移しました。

社債スプレッド（国債に対する上乗せ金利）については、8月のリスクオフ（リスク商品から安定資産へ向かう動き）局面で拡大する場面もありましたが、堅調な米国景気・企業業績を背景に当作成期を通じて見るとおおむね横ばい圏で推移しました。

## ■欧州社債市況

【ブルームバーグ欧州社債インデックス  
(利回り)の推移】

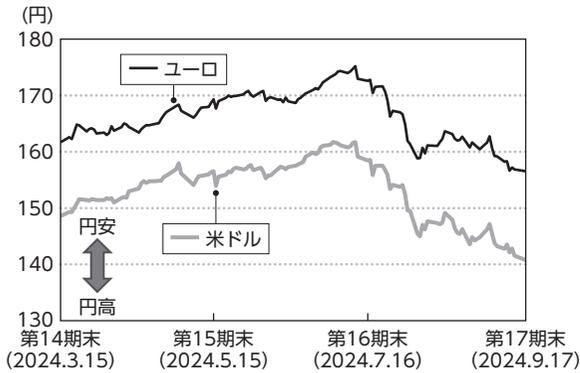


当作成期の社債利回り（ブルームバーグ欧州社債インデックス（利回り））は4月から6月にかけて欧州（ドイツ）国債利回りの上昇を受けて上昇しましたが、6月以降はE C Bによる利下げが開始され欧州国債利回りが低下したことから低下基調で推移しました。

社債スプレッドについては、当作成期初から7月にかけて堅調な企業業績を受け低水準での推移が続いたものの、8月のリスクオフ局面で拡大したため、結局、前作成期末比では拡大して当作成期末を迎えました。

## ■為替市況

【為替レートの推移】



(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

米ドル／円レートは当作成期を通じて見ると下落しました。当作成期初から6月にかけて、内外金利差に着目した円を売り欧米通貨で運用するキャリートレードが活発化し円安基調となりましたが、その後は7月の日銀会合で利上げが実施されたことをきっかけにキャリートレードが巻き戻され、円高傾向となりました。

ユーロ／円レートは当作成期を通じて見ると下落しました。米ドル／円と同様、キャリートレードの活発化で円安が進んだ後は巻き戻しから一転して円高傾向となりました。

## ポートフォリオ

### 各ファンド

「ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド」および「ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド」への投資を通じ、北米や欧州の企業が発行する社債を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。なお「予想分配金提示型・為替ヘッジあり」については、実質組入外貨建資産において、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

### ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド

北米の企業が発行する社債を主要投資対象として、安定した配当等収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

当作成期末における国・地域別投資状況は組入比率の高い順にアメリカ(96.5%)、カナダ(3.5%)であり、格付別投資状況はAAA格(2.7%)A格(41.1%)、BBB格(56.2%)となっています。

(注1) 比率はマザーファンドにおける対組入債券評価額比です。以下同じです。

(注2) 格付はムーディーズ社、S&P社のうち、上位の格付を採用しています。以下同じです。

### 組入上位5銘柄

	銘柄	比率	主な関連するSDGs / SDGs達成に関連した安定的なキャッシュフロー創出の取り組み
1	ハスプロ	3.7%	SDGs目標「質の高い教育をみんなに」に貢献。 グローバルなブランドを有する米国の玩具メーカー。1,500種類に上るキャラクター玩具を製造販売、ディズニーなどの外部のコンテンツ保有会社との提携商品も手掛ける。就学前教育にかかる製品提供を通じた幼児向け教育機会の提供に貢献。
2	サザン	3.7%	SDGs目標「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」に貢献。 電力会社を複数保有する持株会社で米国にて総合電力事業を展開。原子力発電や、風力・太陽光などの再生可能エネルギーを活用した発電を通じた炭素排出量削減への貢献が、安定したキャッシュフロー創出に寄与する見通し。
3	CVSヘルス	3.7%	SDGs目標「すべての人に健康と福祉を」に貢献。 米国最大手のドラッグストアチェーン。南米一部地域を含め9,900店舗以上を展開。医薬品小売を通じたプライマリーケア（一次診断）の提供のみならず、保険・医療機器、サービス情報へのアクセスの確保により精神衛生を含む健康福祉の促進への貢献が安定したキャッシュフロー創出を支える見通し。
4	バークシャー・ハサウェイ・エナジー	3.4%	SDGs目標「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」に貢献。 電力会社を複数保有する持株会社で米国を中心に総合電力事業を展開。風力や太陽光などの再生可能エネルギーを活用した発電を通じた炭素排出量削減への貢献により、安定したキャッシュフロー創出が実現されると期待。
5	ファイサーブ	3.4%	SDGs目標「働きがいも経済成長も」に貢献。 金融機関向けの決済取引処理事業を手がける世界トップクラスのプロバイダー。デジタルバンキングなど金融サービスソリューションを提供。銀行業務と取引処理の重要な部分を担い、人々の金融サービスへのアクセス促進に貢献することでキャッシュフロー創出力が高まると期待。

## 組入銘柄のESGレーティング (2024年8月末時点)

区分	比率
レーティング 1(最高位)	50.5%
レーティング 2	49.5%
レーティング 3	—
レーティング 4	—
レーティングなし	—

(注1) 各銘柄のESGの取り組みに対する当社のESG評価を記載しています。以下同じです。

(注2) 区分の詳細につきましては、前掲の<ESGレーティングの内容>をご参照ください。以下同じです。

## ■ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド

欧州の企業が発行する社債を主要投資対象として、安定した配当等収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

当作成期末における国・地域別投資状況は組入比率の高い順にフランス(33.0%)、イギリス(21.9%)、オランダ(20.0%)であり、格付別投資状況はAA格(11.5%)、A格(33.9%)、BBB格(54.6%)となっています。

### 組入上位5銘柄

	銘柄	比率	主な関連するSDGs / SDGs達成に関連した安定的なキャッシュフロー創出の取り組み
1	ボーダフォン・グループ	3.9%	SDGs目標「産業と技術革新の基盤を作ろう」等に貢献。 イギリスに拠点を置く通信事業者。ネットワークインフラへの投資を継続し新興国における高品質な通信インフラ・アクセス網の構築に貢献。 中期的に安定したキャッシュフローを創出する見通し。
2	サンゴバン	3.7%	SDGs目標「住み続けられるまちづくりを」等に貢献。 グローバルな建築用資材メーカー。断熱材やガラス製品は建物のエネルギー消費量削減に寄与。 中期的に安定したキャッシュフローを創出する見通し。
3	テリア	3.6%	SDGs目標「住み続けられるまちづくりを」等に貢献。 スウェーデンの通信事業者。信頼性とエネルギー効率に優れた光ファイバーネットワークを展開し、アクセス網の構築、エネルギー効率の改善に貢献。 中期的に安定したキャッシュフローを創出する見通し。
4	ナショナル・グリッド	3.5%	SDGs目標「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」等に貢献。 イギリスに拠点を置く公益企業。風力発電や太陽光発電といったクリーンエネルギーの送電網を構築することにより、環境問題解決および産業基盤維持に寄与。 中期的に安定したキャッシュフローを創出する見通し。
5	モタビリティ・オペレーションズ・グループ	3.4%	SDGs目標「人や国の不平等をなくそう」等に貢献。 イギリスに拠点を置く慈善団体の関連企業で福祉車両のリースサービスを手がける。体の不自由な人やその家族に対する比較的安価な交通手段の提供を通じた社会福祉および社会的な格差是正への貢献が安定したキャッシュフロー創出を支える見込み。

## 組入銘柄のESGレーティング (2024年8月末時点)

区分	比率
レーティング 1(最高位)	48.3%
レーティング 2	51.7%
レーティング 3	—
レーティング 4	—
レーティングなし	—

## ベンチマークとの差異

### ■ 予想分配金提示型・為替ヘッジあり

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、北米や欧州の企業が発行する社債を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

### ■ 予想分配金提示型・為替ヘッジなし

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、北米や欧州の企業が発行する社債を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

## 分配金

### ■ 予想分配金提示型・為替ヘッジあり

当作成期の分配金は、各決算日の前営業日の基準価額が当運用報告書「各ファンドの概要」分配方針記載の10,100円未満であることなどから、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第15期	第16期	第17期
	2024年3月16日 ～ 2024年5月15日	2024年5月16日 ～ 2024年7月16日	2024年7月17日 ～ 2024年9月17日
当期分配金（税引前）	－	－	－
対基準価額比率	－	－	－
当期の収益	－	－	－
当期の収益以外	－	－	－
翌期繰越分配対象額	433円	478円	524円

### ■ 予想分配金提示型・為替ヘッジなし

当作成期の分配金は、各決算日の前営業日の基準価額に応じ、当運用報告書「各ファンドの概要」分配方針などから基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第15期	第16期	第17期
	2024年3月16日 ～ 2024年5月15日	2024年5月16日 ～ 2024年7月16日	2024年7月17日 ～ 2024年9月17日
当期分配金（税引前）	80円	80円	80円
対基準価額比率	0.68%	0.67%	0.72%
当期の収益	80円	80円	51円
当期の収益以外	－	－	28円
翌期繰越分配対象額	1,715円	2,027円	1,999円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

# 今後の運用方針

## ■各ファンド

「ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド」および「ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド」への投資を通じ、北米や欧州の企業が発行する社債を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。なお「予想分配金提示型・為替ヘッジあり」については、実質組入外貨建資産において、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

## ■ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド

北米の企業が発行する社債を主要投資対象として、安定した配当等収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

引き続き、SDGsを含むESG分析を通して銘柄選択を行い、最長15年までのラダー型ポートフォリオを構成し、社債市場全体（投資適格）を上回るリスク・リターン効率をめざします。

## ■ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド

欧州の企業が発行する社債を主要投資対象として、安定した配当等収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

引き続き、SDGsを含むESG分析を通して銘柄選択を行い、最長15年までのラダー型ポートフォリオを構成し、社債市場全体（投資適格）を上回るリスク・リターン効率をめざします。

# ファンドデータ

## ニッセイSDGsインカムファンド（予想分配金提示型・為替ヘッジあり）の組入資産の内容

### 組入ファンド

	第17期末 2024年9月17日
ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド	63.4%
ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド	32.2

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

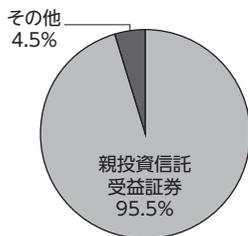
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### 純資産等

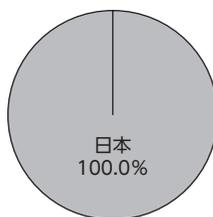
項目	第15期末 2024年5月15日	第16期末 2024年7月16日	第17期末 2024年9月17日
純資産総額	14,992,763円	15,150,261円	15,505,168円
受益権総口数	18,759,781口	18,759,781口	18,759,781口
1万口当たり基準価額	7,992円	8,076円	8,265円

(注) 当作成期間（第15期～第17期）中における追加設定元本額は12,409円、同解約元本額は0円です。

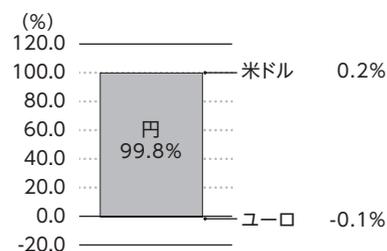
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 資産別・国別・通貨別配分は、2024年9月17日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注2) 通貨別配分については、実質組入比率を記載しています。

## ニッセイSDGsインカムファンド（予想分配金提示型・為替ヘッジなし）の組入資産の内容

### ■組入ファンド

	第17期末 2024年9月17日
ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド	67.1%
ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド	32.9

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

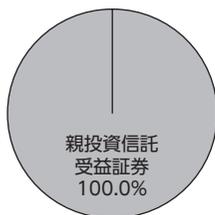
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### ■純資産等

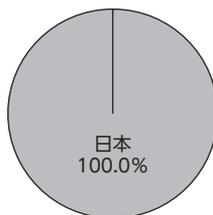
項目	第15期末 2024年5月15日	第16期末 2024年7月16日	第17期末 2024年9月17日
純資産総額	52,454,852円	57,513,265円	55,155,999円
受益権総口数	45,109,598口	48,152,930口	50,227,586口
1万口当たり基準価額	11,628円	11,944円	10,981円

(注) 当作成期間（第15期～第17期）中における追加設定元本額は10,425,884円、同解約元本額は561,785円です。

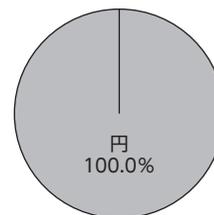
### ■資産別配分



### ■国別配分



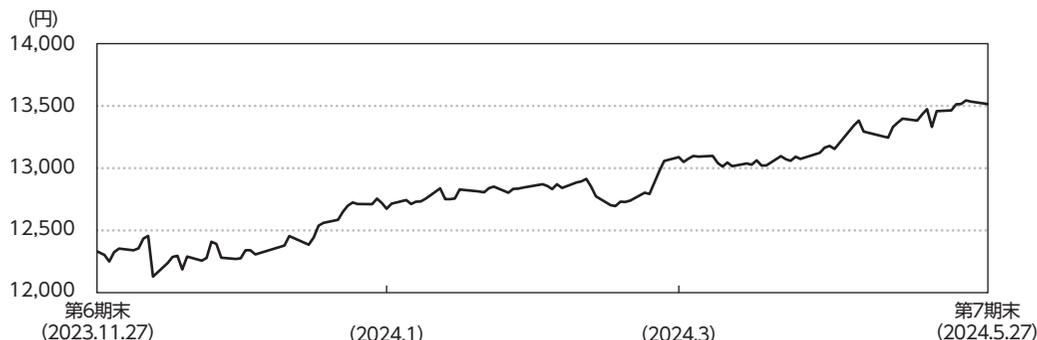
### ■通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2024年9月17日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

# ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンドの概要

## ■ 基準価額の推移



## ■ 上位銘柄

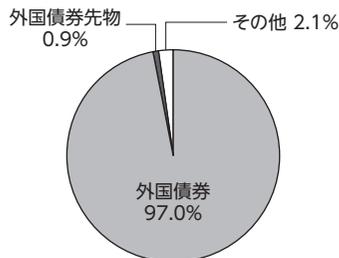
銘柄名	通貨	比率
US 10YEAR ULTRA FUTURE 202406 売	米ドル	7.9%
US 2YR T-NOTE FUTURE 202406 買	米ドル	5.7%
CVS HEALTH CORP 4.875% 2035/7/20	米ドル	4.2%
WHIRLPOOL CORP 4.75% 2029/2/26	米ドル	4.1%
FISERV INC 3.5% 2029/7/1	米ドル	3.9%
MICRON TECHNOLOGY INC 2.703% 2032/4/15	米ドル	3.8%
FORTIS INC 3.055% 2026/10/4	米ドル	3.7%
CNH INDUSTRIAL CAP LLC 5.5% 2029/1/12	米ドル	3.5%
AUTONATION INC 2.4% 2031/8/1	米ドル	3.4%
US 10YR T-NOTE FUTURE 202406 買	米ドル	3.1%
組入銘柄数		48

## ■ 1万口当たりの費用明細

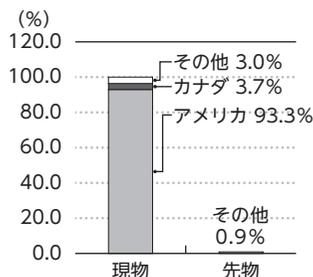
2023.11.28～2024.5.27

項目	金額
売買委託手数料 (先物・オプション)	3円 (3)
その他費用 (保管費用) (その他)	3 (0) (3)
合計	6

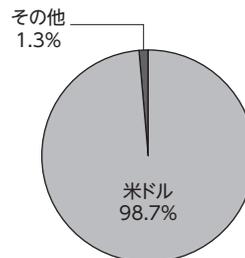
## ■ 資産別配分



## ■ 国別配分



## ■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

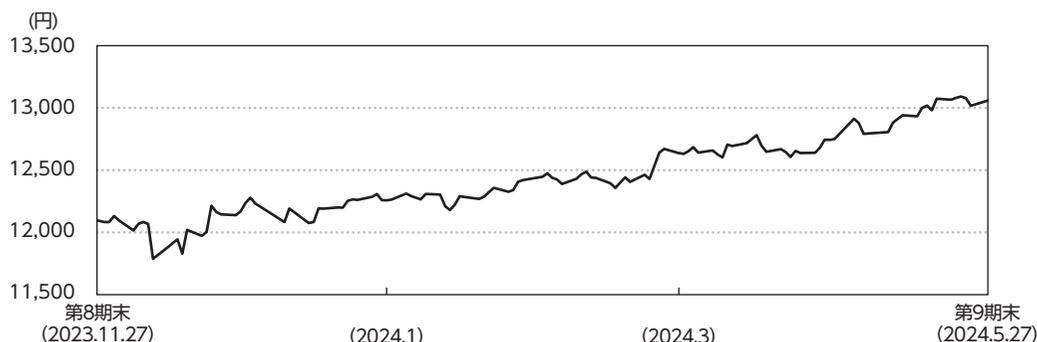
(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2024年5月27日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 国別配分における海外先物は上場取引所の国・地域に基づき開示しています。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

# ニッセイSDGs 欧州クレジットマザーファンドの概要

## ■基準価額の推移



## ■上位銘柄

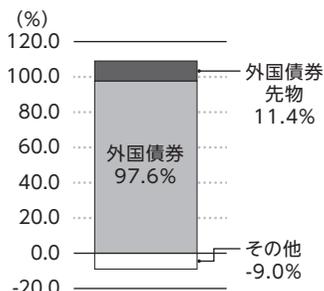
銘柄名	通貨	比率
EURO-SHATZ FUTURE(FGBS) 202406 買	ユーロ	7.6%
VODAFONE GROUP PLC 1.625% 2030/11/24	ユーロ	4.2
CIE DE SAINT-GOBAIN 1.875% 2031/3/15	ユーロ	4.1
BPCE SA 1.375% 2026/3/23	ユーロ	4.0
TELIA CO AB 2.125% 2034/2/20	ユーロ	3.9
NATIONAL GRID PLC 4.275% 2035/1/16	ユーロ	3.9
MOTABILITY OPERATIONS GR 3.625% 2029/7/24	ユーロ	3.8
ABN AMRO BANK NV 4.5% 2034/11/21	ユーロ	3.8
EURO-BUND FUTURE(FGBL) 202406 買	ユーロ	3.7
HSBC HOLDINGS PLC 3.125% 2028/6/7	ユーロ	3.6
組入銘柄数		48

## ■1万口当たりの費用明細

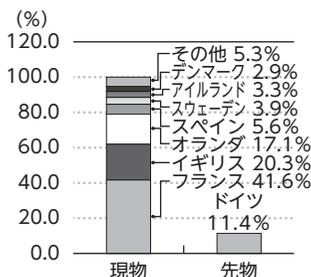
2023.11.28~2024.5.27

項目	金額
売買委託手数料 (先物・オプション)	0円 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (0)
合計	1

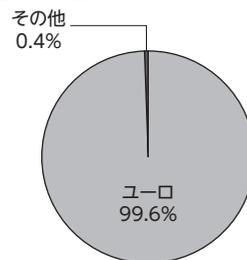
## ■資産別配分



## ■国別配分

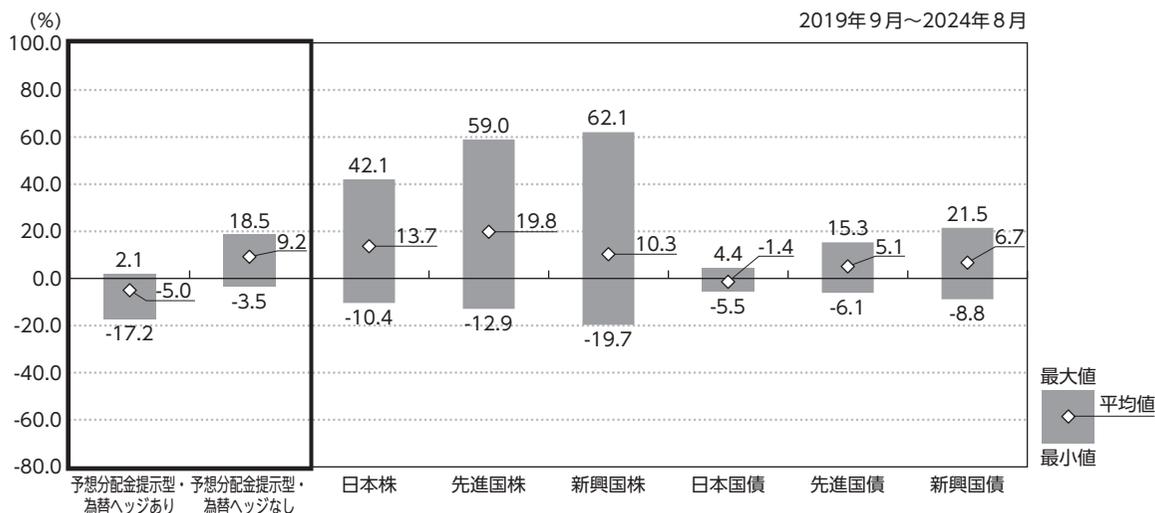


## ■通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。
- (注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2024年5月27日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。
- (注3) 国別配分における海外先物は上場取引所の国・地域に基づき開示しています。
- (注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- (注1) 上記は、各ファンドの騰落率（税引前分配金再投資基準価額騰落率）と代表的な資産クラスの騰落率を比較したものであり、各資産クラスは各ファンドの投資対象を表しているものではありません。
- (注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、各ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。
- (注3) 各ファンドについては設定日以降のデータが5年分に満たないため、実在するデータのみ記載となっています。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

<代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数>

- 日本株・・・TOPIX（東証株価指数）（配当込み）
- 先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債・・・NOMURA-BPI 国債
- 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

- ・すべての資産クラスが各ファンドの投資対象とは限りません。
- ・海外の指数は、「為替ヘッジなし（対円）」の指数を採用しています。

\*各資産クラスの指数につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

## 指数に関して

### ■ ファンドのベンチマーク等について

\*各マザーファンドの参考指数の詳細です。

- ・ブルームバーグ米国社債トータルリターン・インデックス（円換算ベース）の残存年数1－15年のカスタムインデックス

ブルームバーグ米国社債トータルリターン・インデックスは、ブルームバーグが公表しているインデックスであり、米ドル建て投資適格社債市場のパフォーマンスを表します。ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。なお、「円換算ベース」とは同インデックスをもとに、委託会社が独自に円換算したものです。

- ・ブルームバーグ汎欧州総合社債トータルリターン・インデックス（円換算ベース）の残存年数1－15年のカスタムインデックス

ブルームバーグ汎欧州総合社債トータルリターン・インデックスは、ブルームバーグが公表しているインデックスであり、汎欧州通貨建て投資適格社債市場のパフォーマンスを表します。ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。なお、「円換算ベース」とは同インデックスをもとに、委託会社が独自に円換算したものです。

## ■代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数について

- ・ T O P I X（東証株価指数）の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」といいます）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。
- ・ M S C I コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ M S C I エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ N O M U R A - B P I 国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産は同社に帰属します。なお、同社は、各ファンドの運用成果等に関し、一切責任を負いません。
- ・ F T S E 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- ・ J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバースファイドは、J P モルガン社が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的所有権は同社に帰属します。

# お知らせ

## ■「<予想分配金提示型・為替ヘッジあり>」の関連会社の実質保有比率

2024年8月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンドの信託財産において、委託会社の株主である日本生命保険相互会社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に23.0%保有しています。当該実質保有分は、日本生命保険相互会社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

## ■「<予想分配金提示型・為替ヘッジなし>」の関連会社の実質保有比率

2024年8月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンドの信託財産において、委託会社の株主である日本生命保険相互会社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に23.0%保有しています。当該実質保有分は、日本生命保険相互会社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

# 各ファンドの概要

		予想分配金提示型・為替ヘッジあり	予想分配金提示型・為替ヘッジなし
商 品 分 類	追加型投信／海外／債券		
信 託 期 間	2021年12月20日～2044年3月15日		
運 用 方 針	下記マザーファンド受益証券への投資を通じて、北米や欧州の企業が発行する社債を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。		
	実質的な組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。	実質的な組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ニッセイSDGs インカムファンド	「ニッセイSDGs北米クレジットマザーファンド」および「ニッセイSDGs欧州クレジットマザーファンド」受益証券	
	ニッセイSDGs 北米クレジット マザーファンド	北米の企業が発行する社債	
	ニッセイSDGs 欧州クレジット マザーファンド	欧州の企業が発行する社債	
運 用 方 法	ニッセイSDGs インカムファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
	ニッセイSDGs 北米クレジット マザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
	ニッセイSDGs 欧州クレジット マザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	

毎年1・3・5・7・9・11月の各15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、決算日の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。  
 分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益等の全額とします。  
 収益分配方針に基づき、原則として決算日の前営業日の基準価額（1万口当たり。支払い済みの分配金累計額は加算しません。）に応じて、以下の金額の分配をめざします。

決算日の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）
10,100円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
10,100円以上10,400円未満	20円
10,400円以上10,700円未満	40円
10,700円以上11,000円未満	60円
11,000円以上	80円

分 配 方 針

- ・分配対象額が少額の場合、あるいは決算日の前営業日から決算日までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。また、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。
  - ・基準価額の値上がりにより、該当する分配金テーブルが分配金の支払い準備のために用意していた資金を超える場合等には、テーブル通りの分配ができないことがあります。
  - ・基準価額に応じて、分配金額は変動します。基準価額があらかじめ決められた水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。
  - ・分配を行うことにより基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次回決算以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。
- ※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。
- ※将来の分配金の支払いおよびその金額について、保証するものではありません。